

## 事業実施報告書

**団体名：埼玉県子ども食堂ネットワーク**

**事業名：「制服バンク」導入による埼玉県内子どもの貧困への取り組み**

### 1 事業の目的

- ①「子ども食堂」は国・県を挙げて推進しており、メディアに取り上げられる機会も非常に多く、特に埼玉県は各小学校に1カ所を目安として子ども食堂など子供の居場所の設置を目標に掲げ、立ち上げに尽力しています。
- ②埼玉県子ども食堂ネットワークは3年前に任意団体として活動を開始。メンバーはそれぞれの地域で子ども食堂を運営する方からなります。
- ③「制服購入」は、直面する貧困課題の中でも「食」と合わせ、とりわけ重要な課題です。クリーニング店・教育機関・PTA 連合会・各子ども食堂・学区内の中学校にアポイントさせていただき、家で眠る制服や卒業時の制服などを保管させていただき、必要とする家庭・お子さんに届ける計画です。

### 2 事業内容

#### (1) 事業の概要

##### ①制服バンクのチラシ2種類を作成。

A は、子どもが大人に成長した家庭に眠る制服の呼びおこし。

B は、卒業する現役生からの制服の譲り渡し。

この2種類で「制服バンク」の概要を理解していただく。



A



B

②ポスター・チラシは、各子ども食堂から各市町村社協に届け、添付いただきました。

③HPで、制服バンクの理解と活用法をアピール。

- ④埼玉県内子ども食堂運営者と、活用法についてミーティング。
- ⑤現役中学生に学習指導する先生をお呼びし講演会及び意見交換会。
- ⑥埼玉県内の制服バンク成功例の共有。勉強会開催。

## (2) 事業の流れ

### ■制服バンク取り組みについて学習懇談会・第1回

日時 2019年6月28日 PM2時～5時  
 場所 古民家カフェ藍2階スタジオ  
 参加者 埼玉県内子ども食堂ネットワーク会員から60名  
 講演 アスポート副代表 山浦先生



山浦先生の講演後、実際の活動を想定して分科会を開催。質問には

- ①制服の預かり方
- ②制服の保管の仕方
- ③制服台帳の作り方
- ④告知の仕方
- ⑤クリーニングの必要性
- ⑥チラシ・ポスターの配布先
- ⑦古物商などの取り決め
- ⑧報告の仕方

等々、多岐にわたり質問が出されました。

### ■制服バンク取り組みについて学習懇談会・第2回

日時 2019年9月19日  
 場所 古民家カフェ藍2階スタジオ  
 参加者 埼玉県内子ども食堂ネットワーク会員から48名  
 講演 熊谷なないろ子ども食堂 代表 山口純子さん



現況の取り組みについて細かく懇談会開催。  
問題点や各所での現状について話し合いました。

■制服バンクの取り組みについて連絡協議会

日時 2020年2月7日

場所 古民家カフェ藍2階スタジオ

参加者 父子母子会員から33名

講演 さいたま子ども食堂 代表 本間太一さん



事例発表のほか、3テーブルに分かれ、現状や課題について話し合いました。

問題点・・・・・・・・

- ① 地元中学のPTA活動との連携
- ② 制服以外の寄贈品(コート・靴・ランドセル・柔道着など)が増えている点
- ③ 保管場所の確保。
- ④ 必要な子どもに届いているかなど。

(3) 連携・協力機関

- 埼玉県社協
- 各市町村社協
- 埼玉県少子政策課

### 3 成果及び今後の課題

埼玉県子ども食堂ネットワークが取り組んだ「制服バンク」事業は、「食」から見える「衣」の貧困にまで掘り下げ、地域の各所にすることができました。

一年目であり、取り組めた子ども食堂は、県内 20 カ所ほどになります。

今後、ネットワーク活動の大切な部分として、継続及び周知に当たります。

新たな課題は①制服の保管方法と情報のシェアです。

男子学生服が多いところからは必要とされるところへの移動。女子は学校により異なるため、更に地域に PR が必要なこと。

また、②制服以外の品物についての取り扱いです。

これらは、次年度の課題として皆で話し合い、地域性も重視し取り組むことが大切だと感じます。